

～OB&OG 紹介 PART.5～

今回は、29 回生 渡辺裕也さんをご紹介します。

EAGLES を卒業してからも EAGLES ではトレーナーとして、自身は某大学院で身体運動科学に関して研究しています。

齊藤(以下 S): 宜しくお願いします。

渡辺(以下 W): 宜しくお願いします。

S: 現在の職業を教えてください。

W: 学生です。

某大学の大学院に通い身体運動力学を研究しています。

S: 身体運動…力学…。

W: 簡単に言うと、筋レとか、筋肉について研究しています(笑)。

S: なるほど(笑)。大学院って 2 年? 4 年?

W: 修士課程が 2 年。博士課程が 3 年の合計 5 年です。

今年、博士 1 年目です。

S: 将来的な方向は?

W: 筋力トレーニングは、アスリートとかスポーツ選手に限ったものではないので、多くの人が取り組むことで健康になるので、スポーツ科学というよりも健康科学という方面に向っているのが近いですね。

今、研究している内容は比較的に安全に、しかも効果的に筋肉を強く

太くする方法を探しています。それを高齢者の方のために行うというのが、今のテーマですね。

S: スポーツ歴を教えてください。

W: 小学生の時、サッカーやっていました。イケてなかったですけど(笑)

中学では卓球をやっていました。一応、主将でした(笑)。

高校は何もやっていなかったですね。卓球やりたかったんですけど、高校が強過ぎた学校だったので、ちょっと入れる状況ではなかったんで。

S: EAGLES との出会い覚えてる?

W: 勧誘ですね。最初は普通に勧誘されていて逃げながら帰っていたんですけど…。ちょうど同じ高校出身の卒業生の*柴田さんが「オマエを待っていたんだよ」と、「オマエを待っているために留年したんだよ」と、捕まっで『もう逃げられないな』と。(笑)

* 柴田卓磨: 25 回生 現役時 TE/LB

卒業後 オンワード・オックス(X1)(現 相模原ライズ)～EAGLES コーチ(HC 含む)～ 現在 相模原ライズコーチ(X3)

S: 楽しかったエピソード(思い出)はある?

W: ゼーっと、充実していたんですけど。

2 年生、3 年生の頃は何も出来なくて、プレーもできないし…。何だかよくわかってなかったですね。特に 2 年生の時は。

4 年生の時は、やっと色々できるようになって満喫しましたね。試合も練習も楽しかったです。

S: 辛かった思い出は?

W: 2 年生の時、試合に出ても役に立てなかったんで、何かあんまり参加してなかった気がしますね。(試合中)

S: 在学中での思い出の試合を教えてください。

W: 4 年時の夏合宿での産業能率大戦ですね。

結局負けたんですけど、オフENSとして最後追いついたんですよ。

ずっと、春のシーズンからディフェンスがしっかり止めて、オフENSがマイチの試合が続いたんで、リーグ戦前の最後の試合で、負けていても土壇場で「追いつける」と言うのが体験できたので。

結局、負けたんですけど「強くなってきたんだなあ」と、凄く実感したのを覚えています。

1 番印象に残っていますね。

勝っていれば、もっと良かったんですけどね(笑)。

S: メッセージを頂けますか。

W: 現役の人になんですけど。

うまくいかないのがほとんどだと思うんですけど、うまくいかないからと言って、諦めない方が良くと思います。

うまくいかないのが当たり前で、うまくいかないのをうまく行くように頑張らなければいけないので、うまく行かないから諦めないで、うまくいかなくとも頑張ってください。

そうすれば最後は結果が出るはずですよ!

S: ありがとうございました。

W: ありがとうございました。

S: EAGLES で学んだこと(得たこと)はあるかな?

W: 結果が出なくても、ずっと頑張れば(努力していれば)それなりに結果が出る事を体験しましたね。

あとは、EAGLES の一員って言うのが大きい存在だなあと思いますね。

いっぱい先輩や後輩もいますし、EAGLES にいなければ、こういった人間関係は得られませんでしたし。

「良い人達に出会えたなあ」と。

(21.11.18発行)



渡辺裕也：29 回生 現役時 WR 4 年時リーグ戦優勝、入れ替え戦勝利、EAGLES 初 2 部昇格に貢献。
ショートパスだけでなく、DEEP ターゲットとしても活躍。
4 年生でのパフォーマンスは、インタビューからもわかるように諦めない地道な努力によって成し得たものである。

INTERVIEWER 齊藤拓夫(25 回生)

